

石狩・後志・南空知・胆振・日高地域の概要



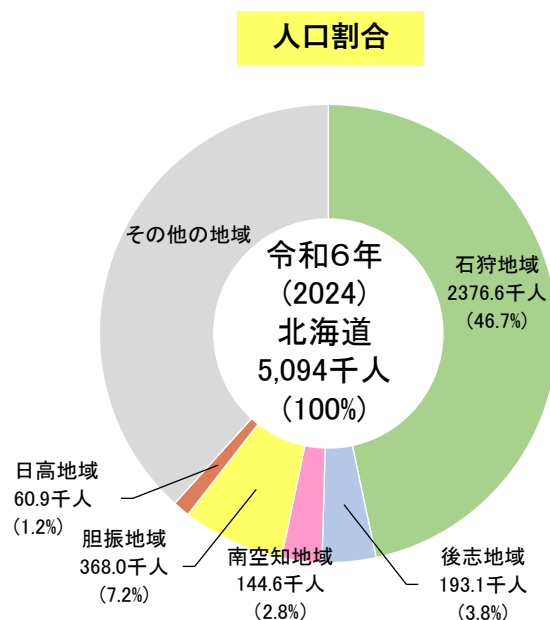
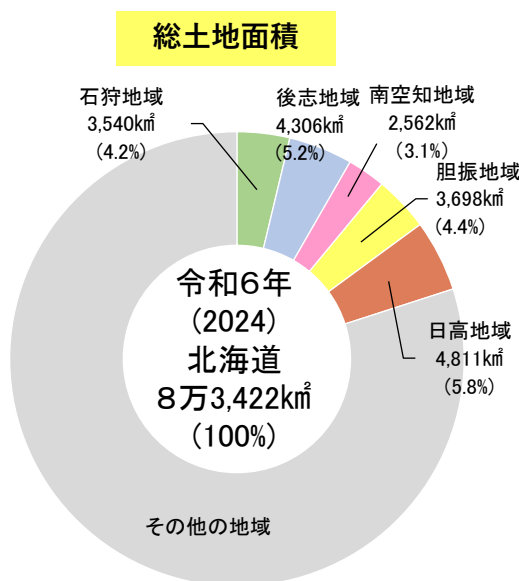
北海道農政事務所
札幌地域拠点

第1 地域の概況(続き)

◇総土地面積は1万8,917km²(石狩:3,540km²、後志:4,306km²、南空知:2,562km²、胆振:3,698km²、日高:4,811km²)で、北海道の22.7%(同:4.2%、同:5.2%、同:3.1%、同:4.4%、同:5.8%)を占めている。

◇総人口は約314.3万人(同:237.7万人、同:19.3万人、同:14.5万人、同:36.8万人、同:6.1万人)で、北海道の総人口の61.7%を占めている。石狩地域は約238万人で、北海道の46.7%を占めており、うち札幌市の人口は約196万人で、(拠点管内の)62.3%を占めている。

*「南空知地域」の値は、南空知地域の市町村を合算(秘匿措置が講じられている市町村を除く。)したものである。(また、他のページについても同様である。)



資料:国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(令和6年4月1日)」
注:四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある。(以下同じ。)

資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和6年1月1日)」

第2 農業の概要

◇耕地面積は北海道の約2割を占めており、田は道内の約4割、畑は道内の約1割を占めている。また、それぞれの地域の気象条件を活かした多種多様な農業経営が展開されている。

◇「石狩地域」では、稲作を主体に、転作田による小麦、大豆、野菜、花きとの複合経営化が進んでいる。

◇「後志地域」の南部では畜産、北部では果樹作や施設園芸作(ミニトマト)を中心とする、幅広い農業生産が行われている。

◇「南空知地域」は、北海道有数の水稻の作付地帯であり、近年は、省力化、低コスト化を目指した「直播栽培」の面積が増加している。また、品種改良や栽培技術の向上等により、子実用とうもろこしの栽培体系が確立したこともあり、国産濃厚飼料の自給率向上に寄与している。

◇「胆振地域」では、温暖な気象条件を活かした露地野菜、高級菜豆、果樹などの多様な作物が生産されている。

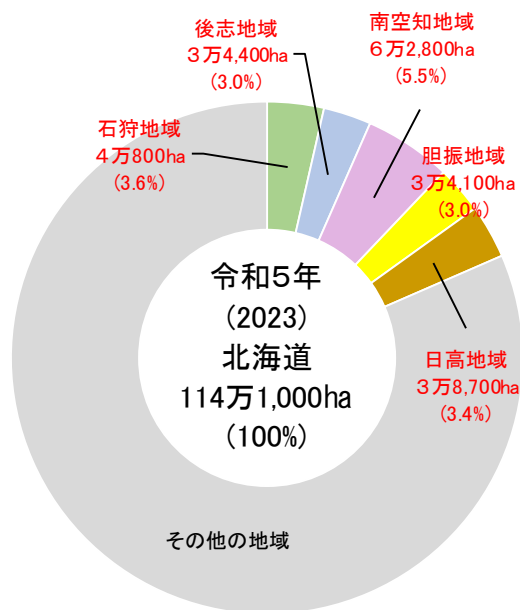
◇「日高地域」は、全国一の軽種馬生産地であるばかりでなく、北海道としては温暖な気候を活かしたトマト、ピーマン、夏いちごなどの生産も盛んである。

1 農業構造の状況

耕地面積（1）

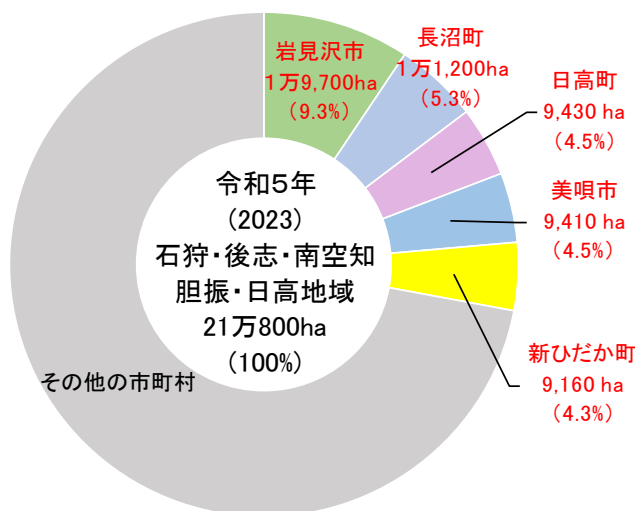
- 耕地面積は21万800ha（石狩：4万800ha、後志：3万4,400ha、南空知：6万2,800ha、胆振：3万4,100ha、日高：3万8,700ha）で、北海道の18.5%（同：3.6%、同：3.0%、同：5.5%、同：3.0%、同：3.4%）を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順で、岩見沢市、長沼町、日高町、美唄市、新ひだか町の順となっている。
- 全地域において、水稻の作付面積が大きな割合を占めている。

耕地面積の割合



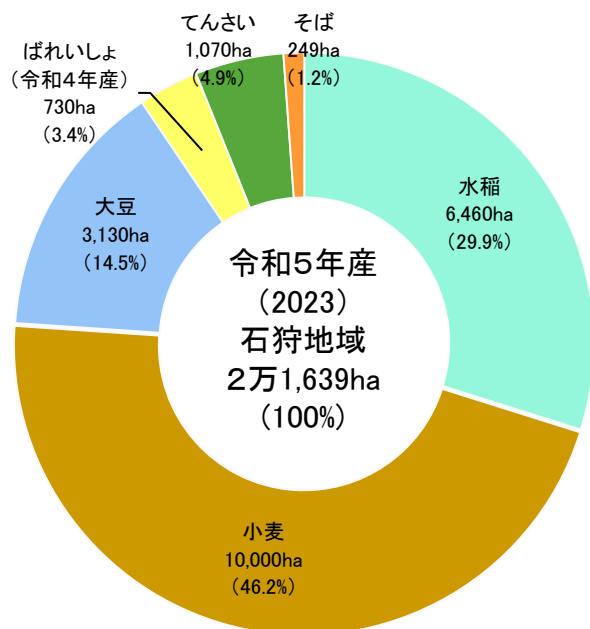
資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の耕地面積割合



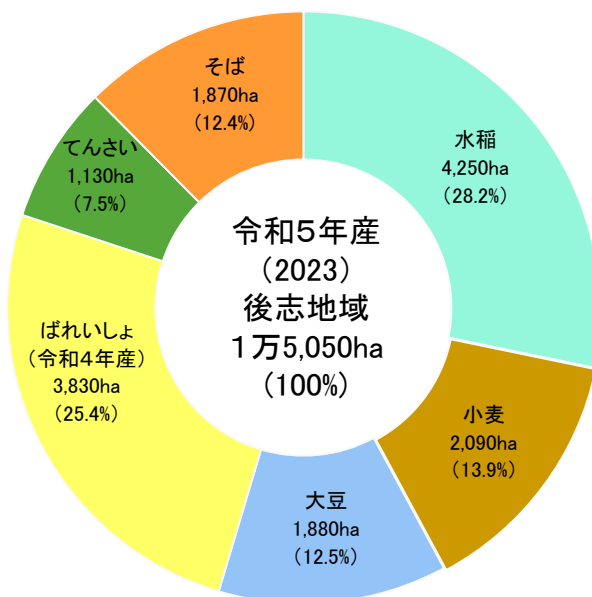
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

「石狩地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」
注：ばれいしょは、令和4年産の値である。

「後志地域」主要農作物の作付面積

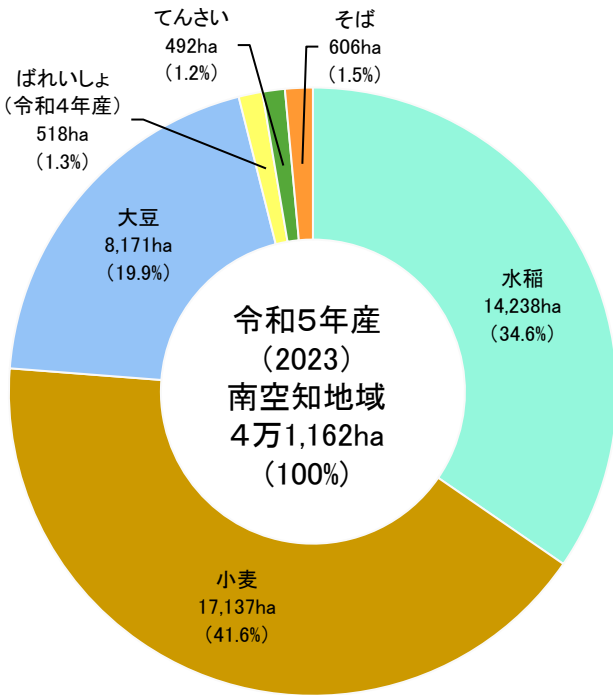


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」
注：ばれいしょは、令和4年産の値である。

1 農業構造の状況

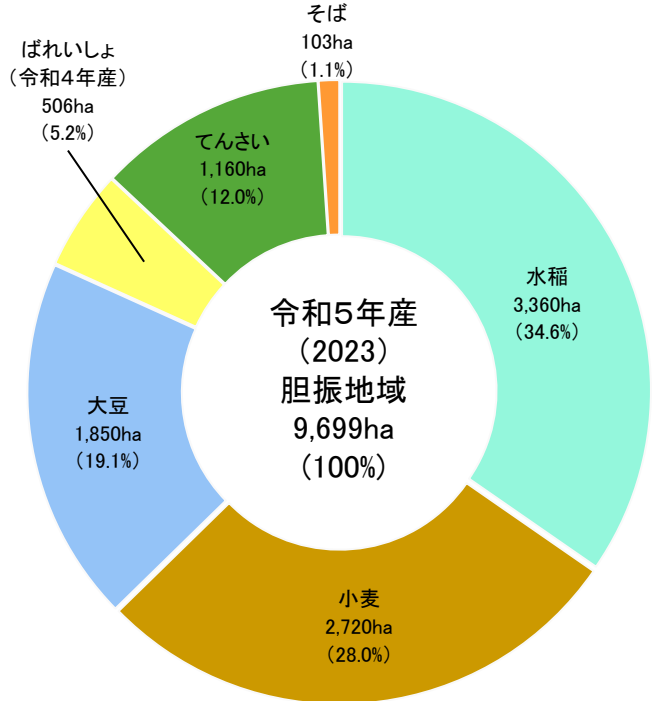
耕地面積（2）

「南空知地域」主要農作物の作付面積



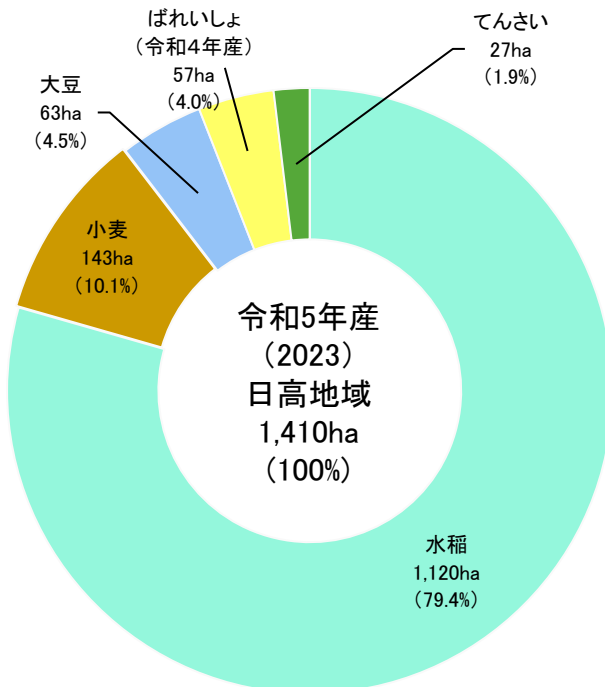
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」
注：ばれいしょは、令和4年産の値である。

「胆振地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」
注：ばれいしょは、令和4年産の値である。

「日高地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」
注：ばれいしょは、令和4年産の値である。

トピック

子実用とうもろこしは、連作障害の軽減、労働時間の短縮や国産飼料増産に伴う食料自給率向上を目的として南空知地域や胆振東部地区を中心に生産が拡大しています。



子実用とうもろこしの刈り取り。



刈り取った子実用とうもろこしをトラックで運搬します。



子実用とうもろこしを乾燥させます。

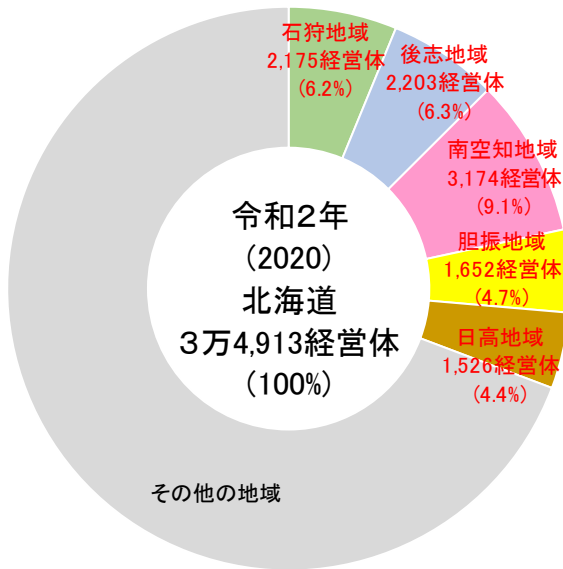


乾燥調製した子実用とうもろこしをサイロで保管します。

農業経営体

- ・農業経営体数は1万730経営体（石狩：2,175経営体、後志：2,203経営体、南空知：3,174経営体、胆振：1,652経営体、日高：1,526経営体）で、北海道の30.7%（同：6.2%、同：6.3%、同：9.1%、同：4.7%、同：4.4%）を占めている。
- ・農業経営体数は、2010年（1万4,502経営体）から2020年（1万730経営体）の10年間で、3,772経営体が減少。
- ・農産物販売金額1位の部門別経営体数割合は、稲作（30.4%）、露地野菜（15.6%）、施設野菜（13.1%）の順となっている。
- ・個人経営体における年齢別農業従事者は、60歳以上が全体の56.3%となっている。

農業経営体数の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業経営体数の推移

＜個人経営体＞

	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	2,757	2,758	4,038	2,036	1,554
2015年	2,270	2,345	3,386	1,751	1,402
2020年	1,910	2,016	2,810	1,452	1,116

＜団体経営体＞

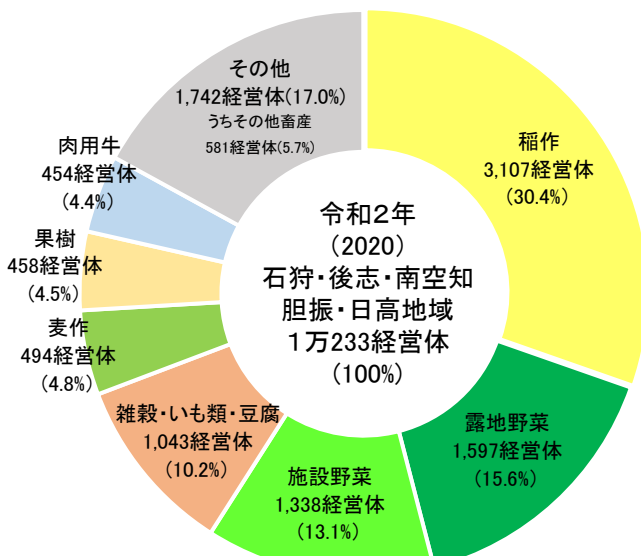
	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	245	138	297	203	476
2015年	277	162	330	200	443
2020年	265	187	364	200	410

＜農業経営体計＞

	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	3,002	2,896	4,335	2,239	2,030
2015年	2,547	2,507	3,716	1,951	1,845
2020年	2,175	2,203	3,174	1,652	1,526

資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

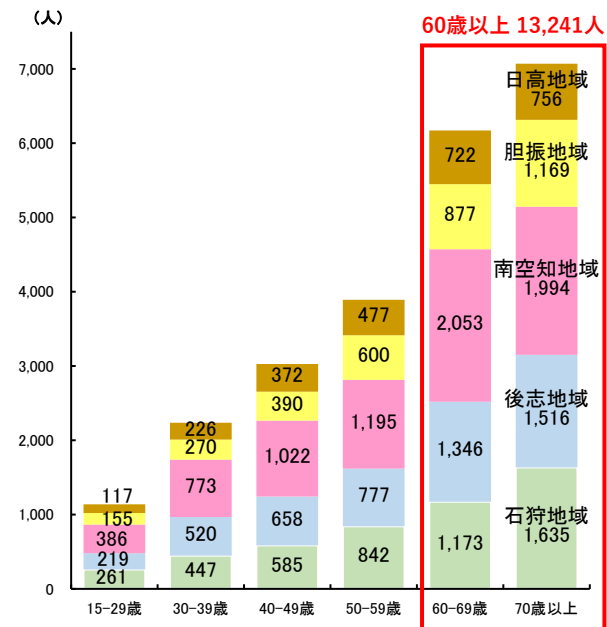
農産物販売金額1位の部門別経営体数割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

年齢別農業従事者数（個人経営体）

※ 令和2(2020)年 農業従事者数 計23,533人

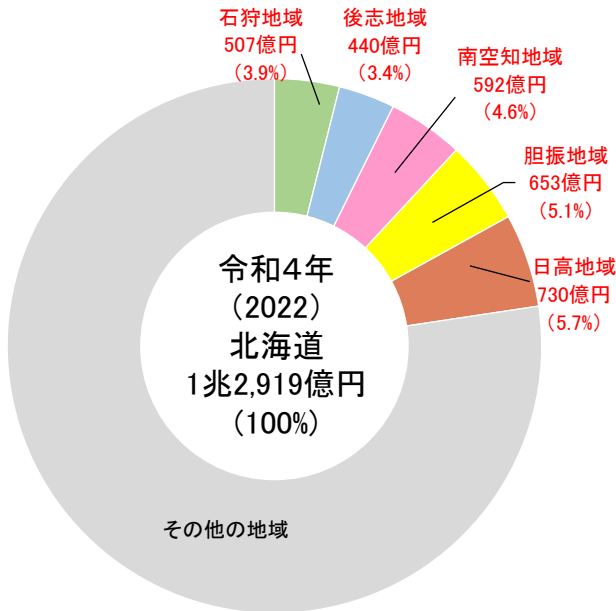


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業産出額（１）

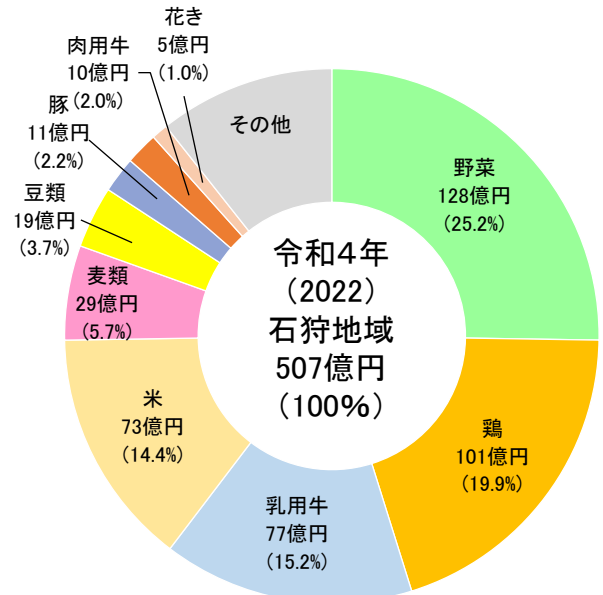
- 農業産出額は2,922億円（石狩：507億円、後志：440億円、南空知：592億円、胆振：653億円、日高：730億円）で、北海道の22.6%（同：3.9%、同：3.4%、同：4.6%、同：5.1%、同：5.7%）を占めている。
- 品目別農業産出額では、野菜の産出額が多く、主な主要農作物である米（水稻）を合わせると、石狩地域は約4割、後志地域は約5割、南空知地域は6割以上を占めている。

農業産出額の割合



資料：農林水産省「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額（推計）」

「石狩地域」品目別農業産出額の割合

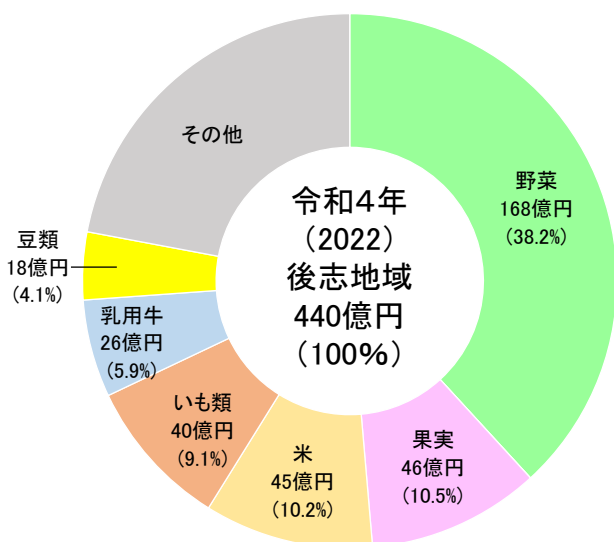


資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

注1：その他には、雑穀・いも類・果実・工芸農作物・その他作物・その他畜産物が含まれている。

注2：鶏は鶏卵、ブロイラー、廃鶏等である（以下同じ）。

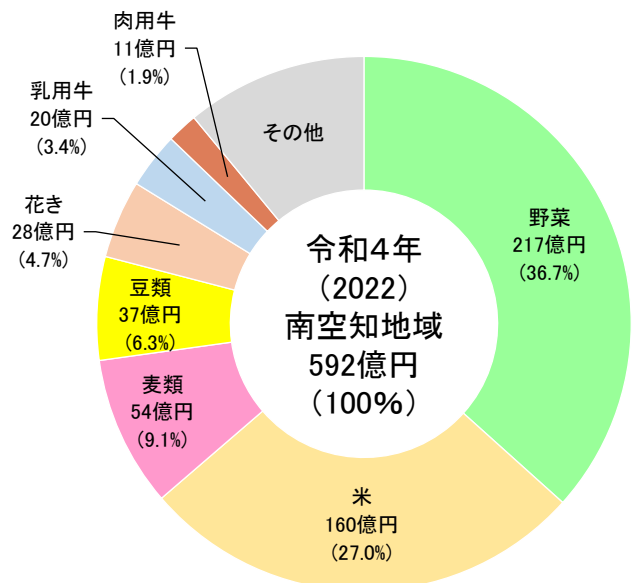
「後志地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

注1：その他には、麦類・雑穀・花き・工芸農作物・その他作物・肉用牛・豚・鶏・その他畜産物が含まれている。

「南空知地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

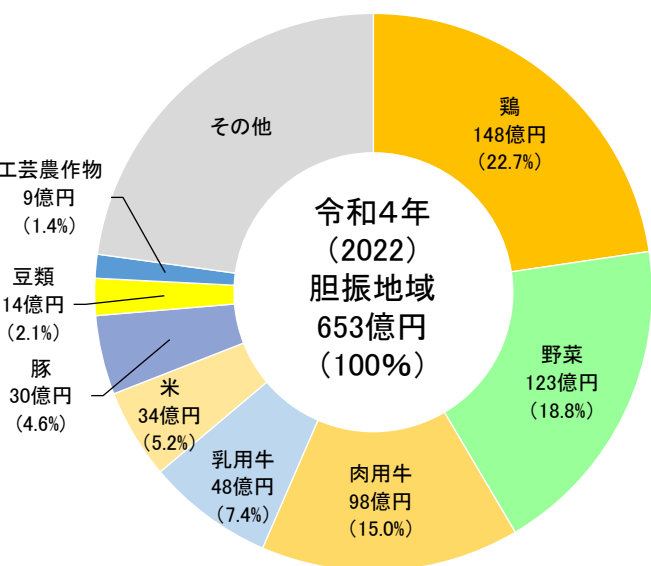
注1：品目別農業産出額の値は、南空知地域の市町村を合算したものである（秘匿措置が講じられている市町村を除いている。）。

注2：その他には、雑穀・いも類・果実・工芸農作物・その他作物・豚・鶏・その他畜産物が含まれている。

農業産出額 (2)

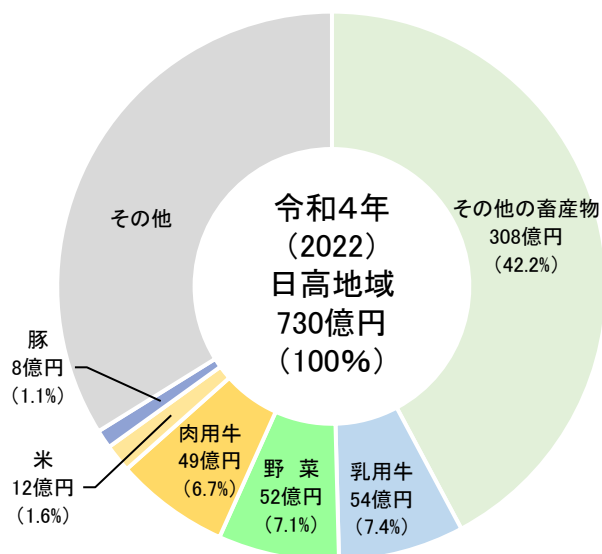
- 胆振地域、日高地域における品目別農業産出額では、畜産物が大きな割合を占めている。胆振地域は、鶏、肉用牛、乳用牛、豚を合わせて約半分を占めている。日高地域は、乳用牛、肉用牛、豚、その他畜産物を合わせて約6割を占めている。
- 農業産出額の多い市町村は、新ひだか町（道内15位）、日高町（道内16位）、岩見沢市（道内18位）、新冠町（道内27位）、浦河町（道内28位）、の順となっている。

「胆振地域」品目別農業産出額の割合



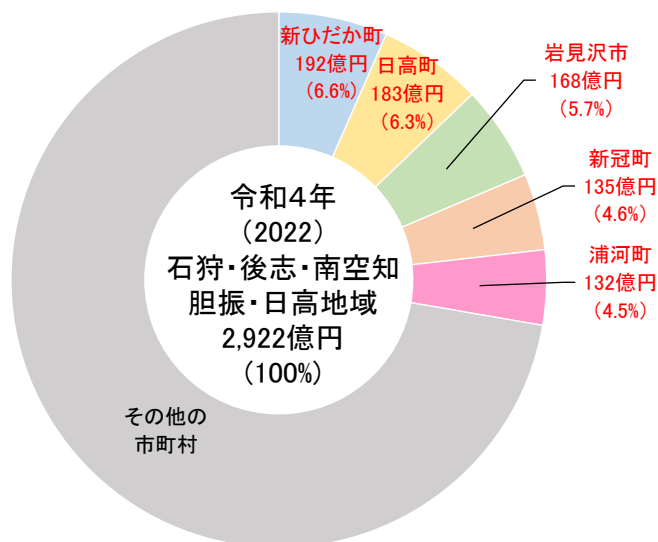
資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
注：その他には、麦類・雑穀・いも類・果実・花き・その他作物・その他畜産物が含まれている。

「日高地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省北海道農政事務所統計部「北海道農林水産統計年報」
注1：その他畜産物は、軽種馬等である。
注2：その他には、麦類・雑穀・豆類・いも類・果実・花き・工芸農作物・
その他作物・鶏が含まれている。

市町村別の農業産出額割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」



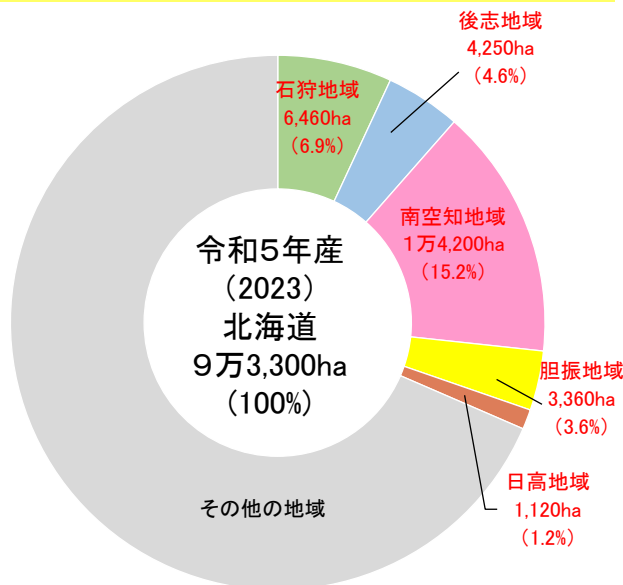
日高地域の軽種馬

2 主要農畜産物の生産等の状況

水稻

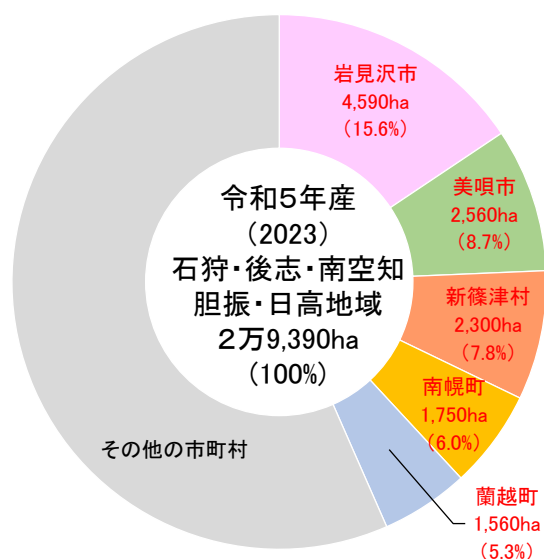
- ・作付面積は2万9,390ha（石狩：6,460ha、後志：4,250ha、南空知：1万4,200ha、胆振：3,360ha、日高：1,120ha）で、北海道の31.5%（同：6.9%、同：4.6%、同：15.2%、同：3.6%、同：1.2%）を占めている。
- ・市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内3位）、美瑛市（道内6位）、新篠津村（道内9位）、南幌町（道内17位）、蘭越町（道内19位）の順となっている。
- ・収穫量は16万2,610t（同：3万6,000t、同：2万3,200t、同：8万100t、同：1万7,600t、同：5,710t）で、北海道の30.1%（同：6.7%、同：4.3%、同：14.8%、同：3.3%、同：1.1%）を占めている。
- ・令和5年産水稻の作付面積は、前年産に比べて石狩（20ha増加）、後志（40ha増加）、胆振（40ha増加）の3地域で増加し、南空知（200ha減少）、日高（70ha減少）の2地域で減少。

作付面積の割合



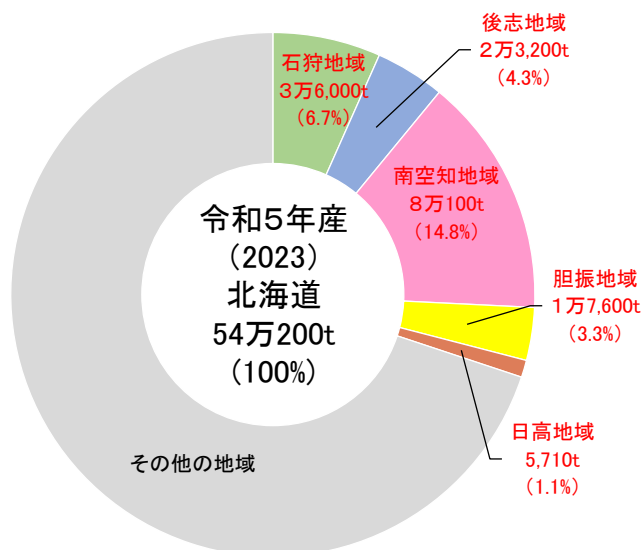
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



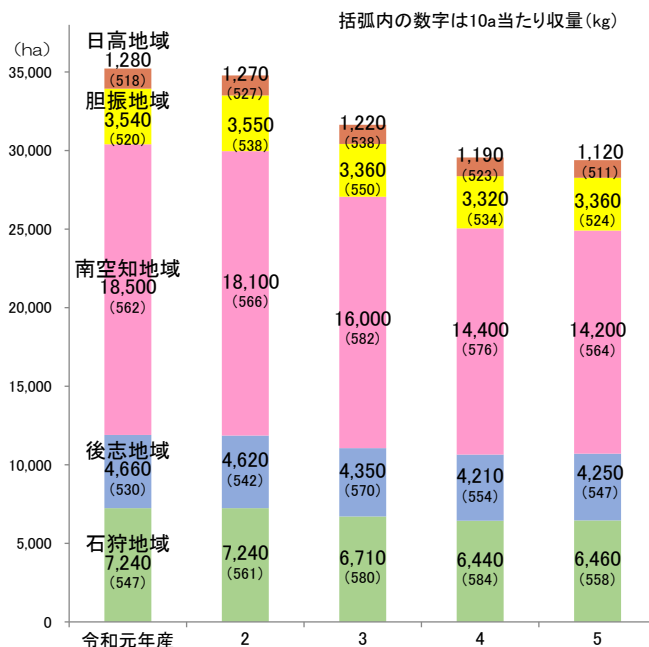
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

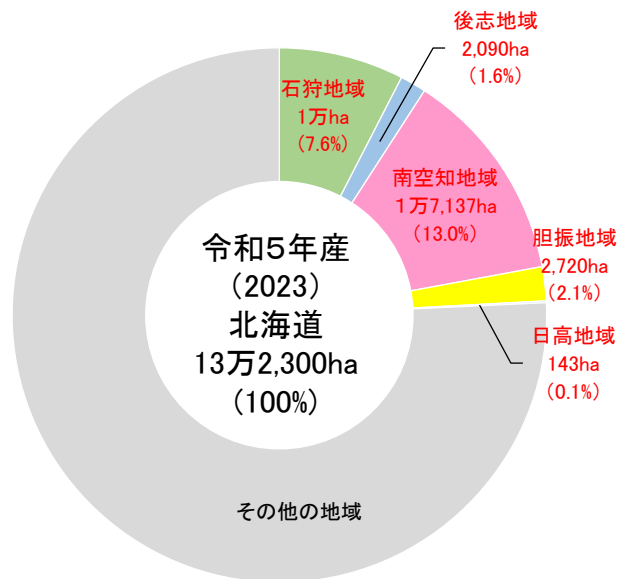


資料：農林水産省統計部「作物統計」

小麦

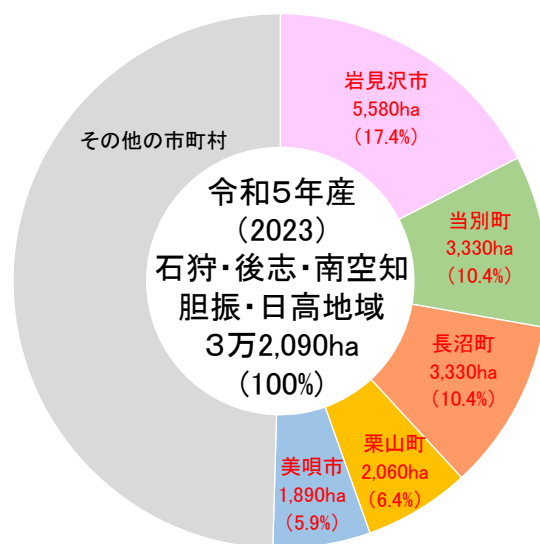
- ・作付面積は3万2,090ha（石狩：1万ha、後志：2,090ha、南空知：1万7,137ha、胆振：2,720ha、日高：143ha）で、北海道の24.3%（同：7.6%、同：1.6%、同：13.0%、同：2.1%、同：0.1%）を占めている。
- ・市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内4位）、当別町（道内10位）、長沼町（道内10位）、栗山町（道内22位）、美瑛市（道内25位）の順となっている。
- ・収穫量は14万8,896t（同：4万5,200t、同：8,640t、同：8万3,675t、同：10,900t、同：481t）で、北海道の20.8%（同：6.3%、同：1.2%、同：11.7%、同：1.5%、同：0.1%）を占めている。
- ・令和5年産小麦の作付面積は、前年産に比べて、南空知（528ha減少）で減少、胆振（100ha増加）、日高（54ha増加）の2地域で増加、石狩、後志の2地域は変化がなかった。

作付面積の割合



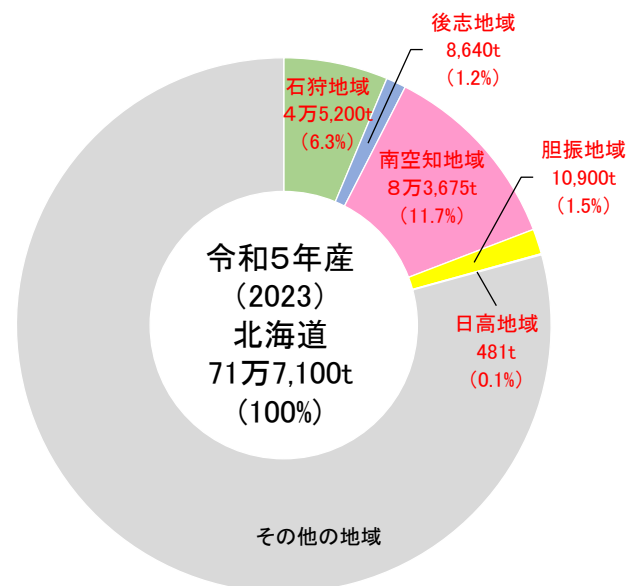
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



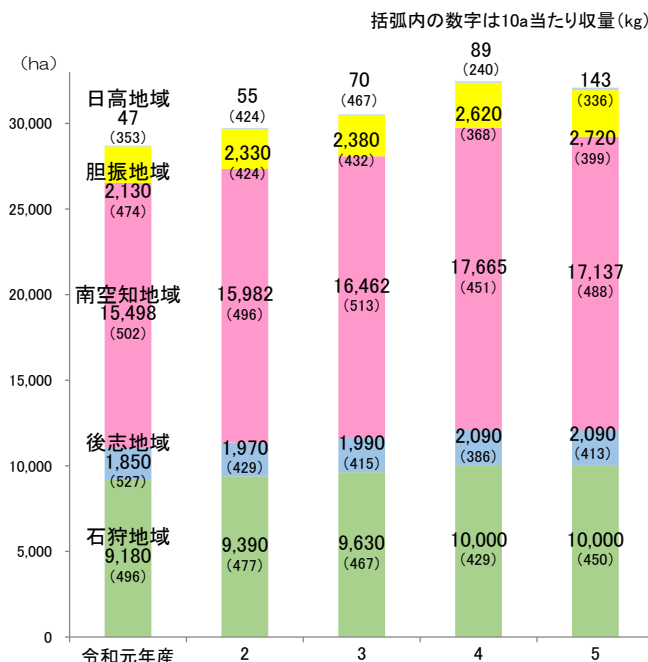
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

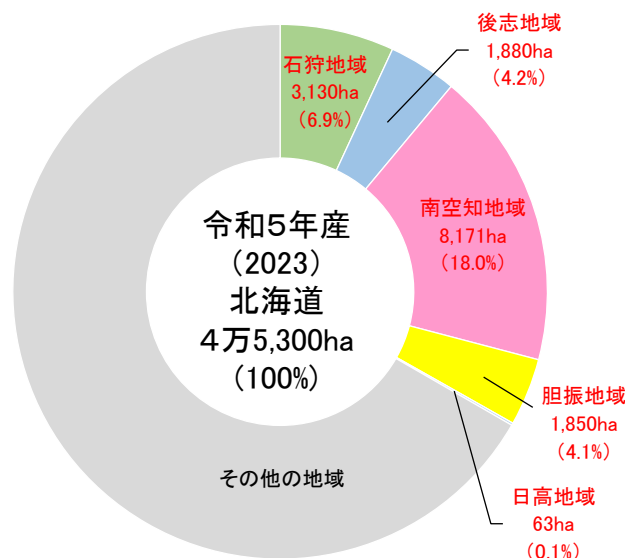


資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」
 注：南空知地域における10a当たり収量は、「農林水産関係市町村別統計」で公表されている各市町村の数値を合算し、除したものである。

大豆

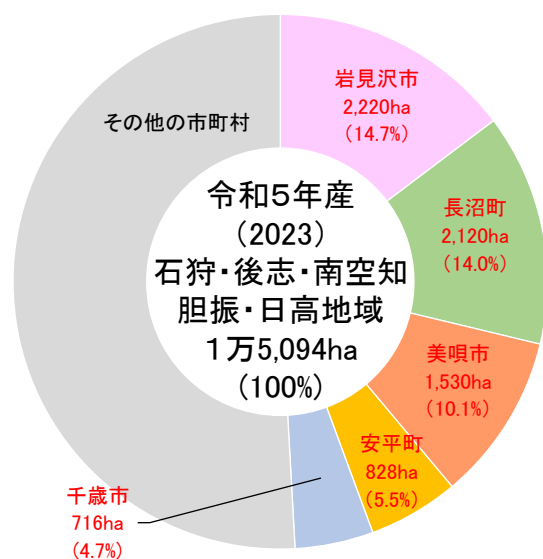
- ・作付面積は1万5,094ha（石狩：3,130ha、後志：1,880ha、南空知：8,171ha、胆振：1,850ha、日高：63ha）で、北海道の33.3%（同：6.9%、同：4.2%、同：18.0%、同：4.1%、同：0.1%）を占めている。
- ・市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内3位）、長沼町（道内4位）、美瑛市（道内6位）、安平町（道内12位）、千歳市（道内18位）の順となっている。
- ・収穫量は3万6,518t（同：8,110t、同：4,110t、同：2万83t、同：4,070t、同：145t）で、北海道の31.6%（同：7.0%、同：3.6%、同：17.4%、同：3.5%、同：0.1%）を占めている。
- ・令和5年産大豆の作付面積は、前年産に比べて石狩（90ha増加）、胆振（210ha増加）の2地域で増加し、後志（50ha減少）、南空知（92ha減少）、日高（1ha減少）の3地域で減少。

作付面積の割合



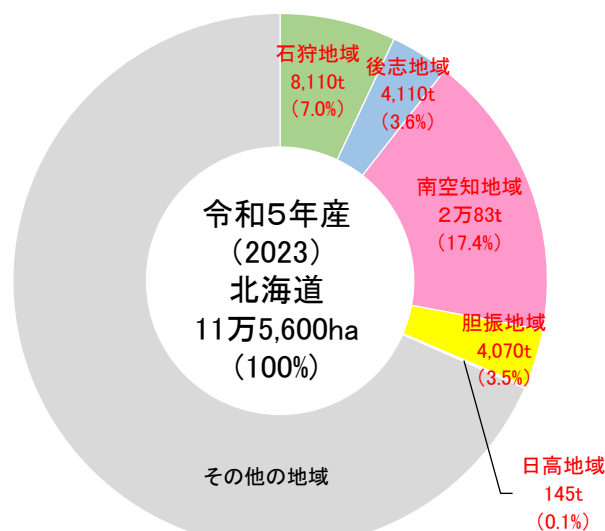
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



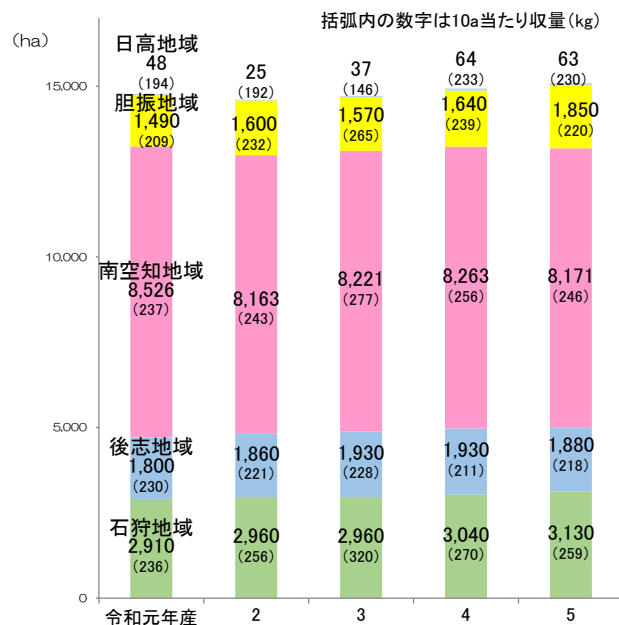
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

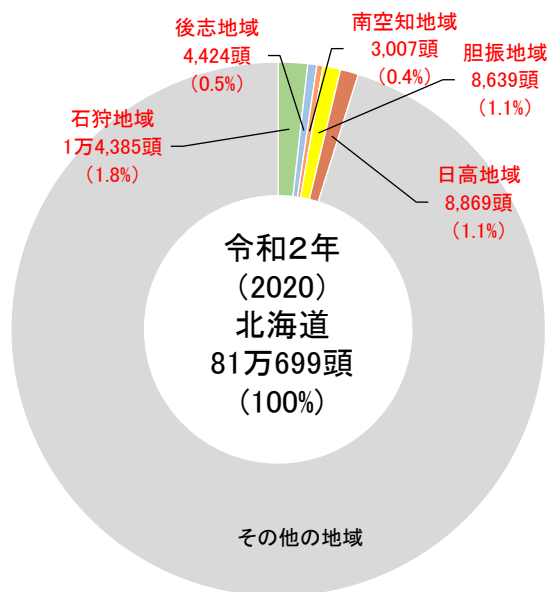


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」
 注：南空知地域における10a当たり収量は、「農林水産関係市町村別統計」で公表されている各市町村の数値を合算し、除したものである。

乳用牛

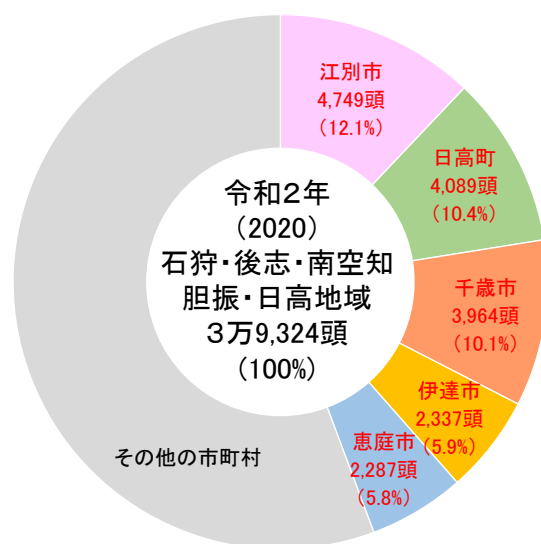
- 飼養頭数は3万9,324頭（石狩：1万4,385頭、後志：4,424頭、南空知：3,007頭、胆振：8,639頭、日高：8,869頭で、北海道の4.9%（同：1.8%、同：0.5%、同：0.4%、同：1.1%、同：1.1%）を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、大きい順で、江別市、日高町、千歳市、伊達市、恵庭市の順となっている。
- 牧草専用地の面積は3万4,420ha（同：4,559ha、同：3,181ha、同：1,220ha、同：6,961ha、同1万8,499ha）で、北海道の8.3%（同：1.1%、同：0.8%、同：0.3%、同：1.7%、同：4.4%）を占めている。
- 2020年の1経営体当たり飼養頭数は、10年前の2010年と比べて石狩（42頭増加）、後志（14頭増加）、南空知（3頭増加）、胆振（18頭増加）、日高（14頭増加）の全ての地域で増加している。

飼養頭数の割合



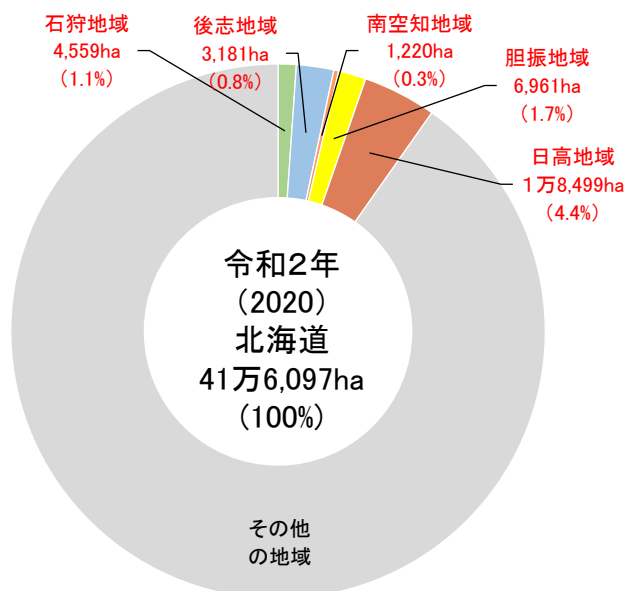
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

市町村別の飼養頭数



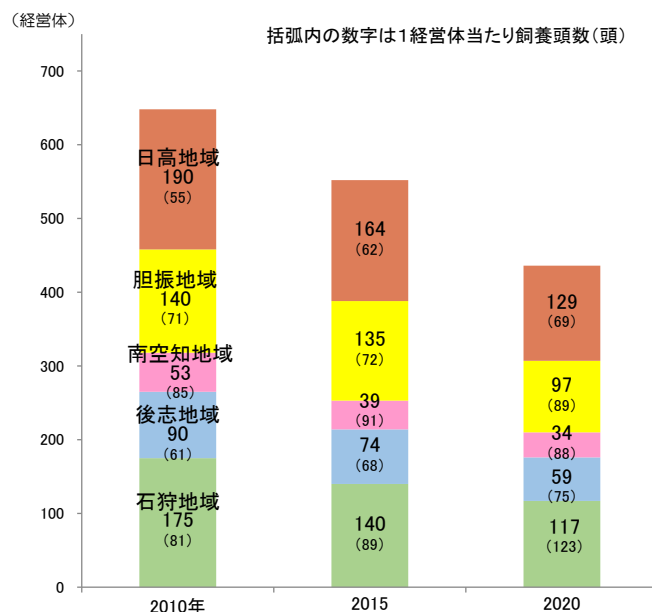
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

牧草専用地面積の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

飼養経営体数・1経営体当たり飼養頭数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」
注：1経営体当たり飼養頭数は、「農林業センサス」の乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

第3 地域の取組事例

1 地産地消・再生可能エネルギー

蘭越町



【もみ殻燃料棒】



【実証栽培を行うビニールハウス】

もみ殻の有効活用で再生可能エネルギーの地産地消を目指す 【蘭越町】

蘭越町は、米の収穫後に廃棄物となっていたもみ殻の有効活用と冬季の農業収入確保を目的として、「もみ殻熱利用実証プロジェクト推進事業」を実施しています。

町内の米農家から回収したもみ殻を、専用の機械を使い10分の1に圧縮して薪状の燃料棒を製造。製造した燃料棒は、冬季の野菜実証栽培を行っているビニールハウス内を加温するボイラーの燃料として使用するほか、家庭・レジャー用として、町内の「道の駅」等で販売しています。

この燃料を使用して栽培された野菜は、道の駅や町内外のスーパーなどに出荷・販売されるほか、町内の学校給食にも提供されています。

2 バイオマス・農福連携

石狩市



【ふれあいきのこ村管理棟】



【菌床に生えているシイタケ】

ごみ焼却施設の排熱を利用した農福連携の取組 【社会福祉法人 はるにれの里 ふれあいきのこ村】

昭和62年、社会福祉法人はるにれの里が厚田村(現石狩市厚田区)に設立した障がい者支援施設において、入所から地域生活に移行する利用者の働く場所を模索していたところ、石狩市が設置していたごみ焼却施設の排熱を他事業に利用できないかという話しが持ち上がり、地域の元気な高齢者と施設利用者が継続的に支援を受けながら働ける施設として「ふれあいきのこ村」を開設。

ごみ焼却施設の排熱を利用して菌床シイタケ栽培を始めたが、当初廃棄していた菌床を乾燥後、木質ペレットに加工し暖房用燃料に利用することで、資源を有効利用しています。

3 食育と地域振興

北広島市



【小学生による稲刈り】

北海道米のルーツ「赤毛」の保存・栽培 【北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」】

北広島市は寒地稲作発祥の地と呼ばれており、その時に栽培されたお米の品種である「赤毛」を使って、さまざまな地域おこしの取組が行われています。

北広島市水稻赤毛種保存会では、北海道を代表する品種である「ゆめぴりか」、「ななつぼし」の先祖である「赤毛」の保存・栽培に取り組んでおり、市内の小学生による「赤毛」の田植え・稲刈りを毎年行っています。

北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」では、農業者等と協力し、「赤毛」の復活栽培や加工品の企画・開発等も行っており、地域全体で連携した取組や活動が評価され、令和3年には「第8回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」で特別賞を受賞し、令和4年にはNPO法人北海道遺産協議会によって「北海道遺産」に選定されました。



【収穫間近の赤毛種のほ場】

4 特別栽培農産物

恵庭市



【イタリアンパセリの収穫】

環境にやさしい生産で各種取組を展開 【有限会社余湖農園】

有限会社余湖農園では、60品目以上の作物を育てていますが、その多くが北海道での農薬・化学肥料の栽培基準の半分以下で栽培した特別栽培農産物となっています。生産したトマト等を使った加工品の製造・販売を行っており、恵庭市のふるさと納税の返礼品にも選ばれ人気となっています。

また、農福連携や外国人労働者の受け入れに力を入れ、雇用者の働き方改革にも取り組んでいます。



【トマトジュースと人参ジュース】

5 農業技術対策

岩見沢市 他



【水稻直播は種作業】



【小麦収穫作業】

小麦・大豆に水稻直播栽培を加えた「空知型輪作」の構築 【ＪＡいわみざわ水稻直まき研究会】

稲作地帯である南空知地域は、生産者の高齢化・後継者不足から担い手への農地集積が進んだ結果、小麦・大豆の転作が大きな割合を占めるようになり、規模拡大に伴う労働力不足と小麦・大豆の連作・交互作による連作障害が要因の収量低下が大きな課題となっていました。ＪＡいわみざわの生産者は、当初打開策として、田畑輪換を取り入れましたが、慣行移植栽培の水稻作付後のほ場は、土壌の碎土性等の問題から畑作物の栽培には適さず、また、経済的な問題もあり普及しませんでした。

このため、平成21年に畑状態のまま栽培できる乾田直播や代かき後に、は種する湛水直播の導入による「空知型輪作体系」の確立・普及を目指し、「ＪＡいわみざわ水稻直まき研究会」を設立しました。

空知型輪作体系の導入により、病虫害や雑草の発生を抑えられ小麦や大豆では収量が増加し、畑作物を植えた後のほ場での水稻作では、肥料が削減できコストが低減されました。

6 有機農業・農福連携

壮瞥町



【大豆収穫作業】



【大豆収穫作業】

自然を生かし大切にする有機農業と農福連携 【合同会社自然農業社】

代表の小田大介氏は、就農前から環境問題に関心があり、農業を始めるなら有機農業に取り組みたいと思い、平飼養鶏と有機農業、農福連携を行っている会社に就職しました。約10年間、有機農業と農福連携を学んだ後、就職先の畑作部門を引き継ぐ形で独立し、「合同会社自然農業社」を設立し就労継続支援Ａ型事業所として登録しました。

利用者個々の技能適正に合わせた作業を提供することや、冬期間の作業を確保し利用者の賃金向上を実現することにより利用者の自立を支援するため、豆類の選別作業や大根の加工（切り干し大根）に取り組み、その結果、安定した利益が見込めるようになりました。

有機農業は、気象条件や害虫の大量発生により特定の農産物に与える影響が大きいと、多種多様な農産物を生産することで、リスクの分散を図り、自然の中で無理なく育てられる農産物を生産しています。

7 国産乳製品等競争力強化

ニセコ町



【ニセコチーズ工房（外観）】



【工房内にある直売所の販売棚】



【コンテストの表彰状】

人とのつながりと創意工夫でブランドの確立を目指す 【ニセコチーズ工房】

平成17年にニセコ町曾我地区に開設された「ニセコチーズ工房」。開設後は5年ほどかけて販路の拡大に努めていましたが、製造や販売を続ける傍ら国内外のコンテストに出品し、受賞したこと等から知名度が上昇。開設時に想定していた規模以上の売上げとなり、販売商品に欠品等が生じることも増えてきたことから、手狭となった作業スペースの確保や製造量の増大を図るため、国産乳製品等競争力強化対策事業を活用して、令和2年6月に現在地（同町近藤地区）に新たな工房を設立しました。

新工房では、これまでの約1.8倍のチーズ製造ができることや集乳ルート上の牧場から集まる生乳の質を確認できるため、「さらに質の良い高品質なチーズ作りを実現させることができるのではないかな。」と2代目オーナーの近藤裕志氏は話しています。

地域風土に調和した独自のチーズを作り、地域の方々と協力しながら地域を盛り上げることを目指して、更なる探求を続けています。

8 飼料自給率の向上

長沼町 他



【コーンヘッドを装着したコンバイン】



【収穫された子実用とうもろこし】

子実用とうもろこし生産の有効性を発信 【北海道子実コーン組合】

日本の濃厚飼料自給率は13%（令和4年度（概算値））と低く、配合飼料の過半を占める「とうもろこし」は、米国及びブラジルからの輸入に依存している現状です。

柳原孝二氏は国産濃厚飼料増産のため、平成24年に子実用とうもろこしの生産を開始。その後、品種改良により栽培期間が短縮されたことと収穫機の能力が向上したことにより、北海道での栽培体系が確立されたため、平成27年3月に柳原氏ら南空知の生産者が中心となり、栽培支援や有利販売を目的とした「北海道子実コーン組合」（代表は柳原氏）を設立しました。

収穫作業実演やシンポジウムを開催し、子実用とうもろこしの作付拡大を図り、国産濃厚飼料の自給率向上に寄与しています。

子実用とうもろこしは、根を深く張ることからほ場の排水改善効果が高くなり、次年度に作付けする小麦や大豆等の輪作作物では収量が増加しています。

また、子実用とうもろこしを給与した畜産物は高級卵やブランド豚肉等としてブランド化されるなど、多方面で有益性が実証されています。

9 スマート農業の推進

伊達市



【ICTを活用した研修センター】



【木質ペレット】



【ヒートポンプ】

環境に優しいカーボンニュートラル型農業の推進 －ICTを活用した持続可能な農業で地域活性化－ 【稀府（まれっぴ）農業研修センター】

伊達市では、全道平均を上回る顕著な高齢化と、担い手不足に起因した農業者の減少による地域農業の衰退からの脱却が喫緊の課題でした。

このため、新規就農を促進すべく、環境に配慮し、伊達市の気候に適した先進的スマート農業の魅力ある営農モデルの構築を目指し、令和4年4月、地域農業の持続的発展と地域活性化を目的とした地域資源活用型農業推進計画を策定しました。

令和5年3月、化石燃料を使用しない熱源システム（地元資源の木質ペレットボイラーと、補助熱源のヒートポンプ）を採用した、カーボンニュートラルを実現する稀府農業研修センターが完成し、連棟型プラスチックフィルムハウス3区画（3,024㎡）において、運営受託事業者による周年栽培の営農を実証中です。

ICT機器の活用により栽培環境や作業管理といった情報をデータ化し、そのデータに基づいた定量的指導で、地域農業の担い手となる人材育成をめざしています。

10 新規就農

石狩市



【農園を営む佐々木洋実氏】



【ジェラートの説明をする佐々木氏】

廃棄を減らすため、6次産業化に挑戦 【石狩みのりファーム】

石狩みのりファームの佐々木洋実氏は、専門学校や飲食業で働いていましたが、子供が小学生になったタイミングで転職を決意。

「自分で経営したい」「長く働きたい」「ものづくりをしたい」との希望に合致したことから、就農を決めました。

生まれ育った石狩市の農業総合支援センターで2年間ミニトマトに特化した農作業や農業簿記などを学び、第三者継承により2021年4月に就農し石狩みのりファームを設立しました。

石狩みのりファームではミニトマトとブロッコリーを栽培しています。また、農業総合支援センターでの研修時にミニトマトの実割れが発生し、大量の廃棄がでた経験から、加工品に生かすことはできないかを考え前職の経験を生かして2022年6月にジェラートを開発し、パッケージにも工夫を凝らして商品化しました。

現在、石狩市のふるさと納税の返礼品に採用されています。

11 農福連携の取組

平取町



【トマトの収穫作業】



【販売会の様子】

農福連携による町内での就労を目指し、地域の関係機関が連携して取り組む作業学習

【北海道平取養護学校】

令和5年、北海道平取養護学校内に農業用ハウスが設置されることが決まったことを契機に、町の呼びかけで町農業支援センター、学校後援会、農業改良普及センター、JA及び農家が連携し、農業用ハウス建設の助言からトマトの栽培技術指導まで一貫して学校の作業学習を支援する体制を整備しました。このことにより、町の特産品であるトマトの栽培から販売までの作業学習を行うことが可能になりました。

学校は関係機関の協力のもと生徒の就労先の選択肢になり得るトマト栽培の学習を進めることが可能になり、生徒はトマトの生長に期待感を持って作業に取り組むことができている他、収穫したトマトのおいしさを実感することで農業の楽しさを知ることができています。また、販売学習ではお客様から声を掛けてもらうことで自覚や意欲が湧いてきており、自ら言葉を発することで人との関わりを持つことができるようになってきました。

今後は、トマト栽培に必要な農作業の知識や技能を在学中に身につけることで、卒業後の進路として町内での就農も選択肢の一つになるよう関係機関の協力を得ながら、卒業後の町内での生活の場の確保をはじめとする諸課題の解決に向け取り組んでいきます。

12 農山漁村活性化

仁木町



【町内産ワインを楽しむイベント】

地域を点から線、線から面で取り組む滞在型ワインツーリズム
【仁木町ワインツーリズム推進協議会】

仁木町ワインツーリズム推進協議会は、ワインツーリズムを活用した滞在型の観光を創出することにより、持続可能な農業・農村を実現するため設立されました。

豊かな自然とブドウ畑が織りなす景観を背景にワイナリーやレストラン・宿泊施設を備え、事業者と町民の交流会の開催など行政・事業者・町民が相互に連携し、地域一丸となって国内外の観光客を増やす取組を行っています。

今後は、多様な宿泊型観光にも対応できる体制づくりと豊富な自然・立地条件を生かした農業・農産加工、自然体験などの体験・交流や地元食材を楽しめる食のコンテンツの開発など関係者が連携しながら仁木町の魅力を発信し、地域活性化に繋がるよう取り組んでいきます。



【地元生産者とコラボしたランチイベント】

市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア		道内 シェア		道内 シェア		道内 シェア		道内 シェア		道内 シェア		道内 シェア	
	km ²	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
石狩地域	3,540	4.2	40,800	3.6	21,100	9.5	19,700	2.1	2,376,609	46.7	1,318,567	46.9	2,175	6.2
札幌市	1,121	1.3	2,490	0.2	177	0.1	2,310	0.3	1,956,928	38.4	1,104,953	39.3	388	1.1
江別市	187	0.2	7,020	0.6	4,360	2.0	2,660	0.3	118,686	2.3	59,678	2.1	335	1.0
千歳市	595	0.7	5,850	0.5	634	0.3	5,220	0.6	97,999	1.9	52,371	1.9	204	0.6
恵庭市	295	0.4	4,280	0.4	2,350	1.1	1,930	0.2	70,354	1.4	35,501	1.3	184	0.5
北広島市	119	0.1	1,930	0.2	435	0.2	1,500	0.2	56,903	1.1	28,290	1.0	102	0.3
石狩市	722	0.9	5,540	0.5	2,240	1.0	3,300	0.4	57,645	1.1	28,623	1.0	302	0.9
当別町	423	0.5	8,510	0.7	6,080	2.7	2,430	0.3	15,286	0.3	7,794	0.3	437	1.3
新篠津村	78	0.1	5,140	0.5	4,830	2.2	303	0.0	2,808	0.1	1,357	0.0	223	0.6
後志地域	4,306	5.2	34,400	3.0	8,520	3.8	25,900	2.8	193,073	3.8	110,212	3.9	2,203	6.3
小樽市	244	0.3	182	0.0	17	0.0	165	0.0	106,507	2.1	60,827	2.2	57	0.2
島牧村	437	0.5	297	0.0	33	0.0	264	0.0	1,286	0.0	752	0.0	29	0.1
寿都町	95	0.1	267	0.0	18	0.0	249	0.0	2,694	0.1	1,573	0.1	8	0.0
黒松内町	346	0.4	3,360	0.3	175	0.1	3,180	0.3	2,573	0.1	1,426	0.1	46	0.1
蘭越町	450	0.5	3,950	0.3	2,920	1.3	1,030	0.1	4,496	0.1	2,402	0.1	245	0.7
二セコ町	197	0.2	2,700	0.2	628	0.3	2,070	0.2	5,481	0.1	3,180	0.1	132	0.4
真狩村	114	0.1	3,000	0.3	14	0.0	2,990	0.3	1,952	0.0	984	0.0	125	0.4
留寿都村	120	0.1	2,390	0.2	1	0.0	2,390	0.3	2,036	0.0	1,201	0.0	91	0.3
喜茂別町	189	0.2	1,230	0.1	1	0.0	1,230	0.1	1,957	0.0	1,161	0.0	80	0.2
京極町	231	0.3	2,510	0.2	28	0.0	2,480	0.3	2,800	0.1	1,450	0.1	82	0.2
倶知安町	261	0.3	4,510	0.4	925	0.4	3,580	0.4	16,505	0.3	10,058	0.4	176	0.5
共和町	305	0.4	5,100	0.4	2,560	1.2	2,540	0.3	5,430	0.1	2,754	0.1	318	0.9
岩内町	71	0.1	348	0.0	162	0.1	186	0.0	11,094	0.2	6,400	0.2	25	0.1
泊村	82	0.1	0	0.0	－	－	0	0.0	1,464	0.0	859	0.0	1	0.0
神恵内村	148	0.2	2	0.0	0	0.0	2	0.0	757	0.0	448	0.0	－	－
積丹町	238	0.3	828	0.1	0	0.0	828	0.1	1,770	0.0	1,009	0.0	23	0.1
古平町	188	0.2	80	0.0	48	0.0	32	0.0	2,656	0.1	1,640	0.1	12	0.0
仁木町	168	0.2	1,470	0.1	702	0.3	767	0.1	3,040	0.1	1,658	0.1	304	0.9
余市町	141	0.2	1,420	0.1	71	0.0	1,350	0.1	17,222	0.3	9,537	0.3	361	1.0
赤井川村	280	0.3	786	0.1	208	0.1	578	0.1	1,353	0.0	893	0.0	88	0.3

市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等（つづき）

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シエア	計	道内 シエア	田	道内 シエア	畑	道内 シエア	道内 シエア	道内 シエア	道内 シエア	道内 シエア	道内 シエア	道内 シエア	道内 シエア
	km ²	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
胆振地域	3,698	4.4	34,100	3.0	9,330	4.2	24,700	2.7	368,046	7.2	203,710	7.2	1,652	4.7
室蘭市	81	0.1	227	0.0	11	0.0	216	0.0	76,519	1.5	43,538	1.5	13	0.0
苫小牧市	562	0.7	1,240	0.1	－	－	1,240	0.1	166,846	3.3	91,032	3.2	51	0.1
登別市	212	0.3	1,030	0.1	0	0.0	1,030	0.1	44,451	0.9	23,993	0.9	36	0.1
伊達市	444	0.5	4,810	0.4	449	0.2	4,360	0.5	31,822	0.6	17,524	0.6	343	1.0
豊浦町	234	0.3	1,900	0.2	140	0.1	1,760	0.2	3,558	0.1	2,027	0.1	86	0.2
壮瞥町	205	0.2	1,480	0.1	308	0.1	1,170	0.1	2,391	0.0	1,335	0.0	121	0.3
白老町	426	0.5	1,220	0.1	－	－	1,220	0.1	15,451	0.3	9,251	0.3	53	0.2
厚真町	405	0.5	5,570	0.5	3,430	1.5	2,150	0.2	4,306	0.1	2,118	0.1	290	0.8
洞爺湖町	181	0.2	2,550	0.2	126	0.1	2,420	0.3	8,068	0.2	4,770	0.2	133	0.4
安平町	237	0.3	7,430	0.7	1,150	0.5	6,280	0.7	7,311	0.1	4,005	0.1	203	0.6
むかわ町	711	0.9	6,610	0.6	3,720	1.7	2,890	0.3	7,323	0.1	4,117	0.1	323	0.9
日高地域	4,811	5.8	38,700	3.4	4,740	2.1	34,000	3.7	60,906	1.2	33,569	1.2	1,526	4.4
日高町	992	1.2	9,430	0.8	1,060	0.5	8,370	0.9	11,107	0.2	6,266	0.2	312	0.9
平取町	743	0.9	4,660	0.4	1,540	0.7	3,120	0.3	4,539	0.1	2,412	0.1	233	0.7
新冠町	586	0.7	7,160	0.6	454	0.2	6,710	0.7	5,137	0.1	2,804	0.1	231	0.7
浦河町	694	0.8	5,450	0.5	243	0.1	5,200	0.6	11,453	0.2	6,640	0.2	253	0.7
様似町	364	0.4	1,030	0.1	97	0.0	933	0.1	3,901	0.1	2,080	0.1	60	0.2
えりも町	284	0.3	1,830	0.2	－	－	1,830	0.2	4,178	0.1	2,020	0.1	12	0.0
新ひだか町	1,148	1.4	9,160	0.8	1,340	0.6	7,810	0.8	20,591	0.4	11,347	0.4	425	1.2
南空知地域	2,562	3.1	62,814	5.5	50,404	22.8	12,324	1.3	144,604	2.8	78,076	2.8	3,174	9.1
夕張市	763	0.9	714	0.1	142	0.1	572	0.1	6,411	0.1	3,885	0.1	114	0.3
岩見沢市	481	0.6	19,700	1.7	16,300	7.4	3,360	0.4	75,522	1.5	40,752	1.5	881	2.5
美唄市	278	0.3	9,410	0.8	8,720	3.9	685	0.1	18,976	0.4	10,784	0.4	518	1.5
三笠市	303	0.4	1,340	0.1	542	0.2	801	0.1	7,465	0.1	4,469	0.2	67	0.2
南幌町	81	0.1	5,570	0.5	5,100	2.3	469	0.1	7,785	0.2	3,685	0.1	170	0.5
由仁町	134	0.2	5,850	0.5	4,010	1.8	1,840	0.2	4,662	0.1	2,310	0.1	316	0.9
長沼町	169	0.2	11,200	1.0	8,990	4.1	2,170	0.2	10,057	0.2	4,872	0.2	603	1.7
栗山町	204	0.2	5,920	0.5	3,990	1.8	1,930	0.2	10,905	0.2	5,749	0.2	332	1.0
月形町	150	0.2	3,110	0.3	2,610	1.2	497	0.1	2,821	0.1	1,570	0.1	173	0.5

資料：国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（令和6年4月1日）」
 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和5年）」、「2020年農林業センサス」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和6年1月1日）」

注1：南空知の計は、各市町の数値を単純に合算したものである。

注2：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

市町村別農業産出額（推計）

単位：1,000万円

市町村	農業産出額		耕 種										畜 産								
			小 計		米	麦 類	雑 穀	豆 類	い も 類	野 菜	工芸農作物	その他作物	小 計		肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏	その他畜産物	
	道内順位	道内順位	道内順位	道内順位																	
石狩地域																					
札幌市	601	72	258	73	2	2	0	1	3	204	0	46	343	66	1	91	77	x	243	x	
江別市	808	58	491	32	91	45	0	43	8	275	9	1	318	70	25	274	242	x	6	x	
千歳市	1,222	31	401	42	10	44	0	54	18	218	51	7	820	28	28	227	200	111	446	9	
恵庭市	519	81	341	55	52	22	0	25	27	173	21	0	179	88	6	82	55	x	62	x	
北広島市	482	86	112	105	15	2	0	5	5	78	0	7	371	63	12	61	55	x	252	x	
石狩市	420	96	346	53	129	25	2	3	11	153	2	7	73	107	11	30	26	x	0	x	
当別町	541	78	500	31	153	97	0	30	5	83	7	1	41	122	15	8	7	x	－	x	
新篠津村	479	87	479	33	275	52	0	32	0	98	1	21	－	－	－	－	－	－	－	－	
後志地域																					
小樽市	38	162	38	134	1	－	0	0	0	31	0	3	－	－	－	－	－	－	－	－	
島牧村	9	171	6	155	1	－	1	0	0	4	－	0	3	158	3	－	－	－	－	－	
寿都町	4	172	3	161	0	0	－	0	1	0	1	0	1	163	0	－	－	x	－	x	
黒松内町	323	112	41	130	4	3	9	9	10	3	0	4	282	73	36	58	51	x	0	x	
蘭越町	262	128	256	74	162	2	5	7	7	69	1	3	6	151	2	4	x	－	－	－	
二セコ町	261	130	176	88	31	3	0	13	24	97	1	6	84	105	2	44	38	－	0	38	
真狩村	472	89	334	56	1	5	0	27	54	215	16	0	137	95	6	54	49	x	－	x	
留寿都村	364	104	264	71	0	3	－	20	51	173	18	0	100	103	5	4	x	x	－	x	
喜茂別町	189	141	129	97	0	1	0	11	29	80	7	2	60	112	－	3	x	x	－	x	
京極町	264	126	220	81	0	12	1	28	72	65	14	x	44	120	1	11	x	x	0	x	
倶知安町	362	105	302	63	23	16	5	57	119	53	29	1	59	114	2	45	40	x	7	x	
共和町	598	73	595	27	160	9	11	10	26	373	1	0	3	158	－	3	x	－	－	－	
岩内町	18	168	9	148	8	0	0	0	0	1	0	0	9	147	0	9	8	－	－	－	
泊村	0	173	0	169	－	－	－	－	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
神恵内村	0	173	0	169	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
積丹町	37	163	29	137	－	－	2	0	1	25	0	0	8	149	1	6	x	－	0	－	
古平町	25	166	4	158	1	－	0	0	0	3	－	0	21	139	－	－	－	x	0	x	
仁木町	477	88	477	35	43	－	1	0	0	240	0	175	0	167	－	－	－	0	－	－	
余市町	581	76	505	30	3	－	0	0	0	195	0	278	77	106	－	14	x	x	1	x	
赤井川村	117	148	74	112	13	－	0	1	2	54	0	2	43	121	3	8	x	x	0	x	

市町村別農業産出額（推計）（つづき）

単位：1,000万円

市町村	農業産出額		耕 種										畜 産							
			小 計		米	麦 類	雑 穀	豆 類	い も 類	野 菜	工 芸 農作物	その他 作物	小 計		肉用牛	乳用牛		豚	鶏	その他 畜産物
	道内 順位	道内 順位	道内 順位	道内 順位																
胆振地域																				
室蘭市	63	156	3	161	1	-	-	0	0	2	0	x	60	112	3	14	x	-	-	43
苫小牧市	315	114	62	118	-	1	-	2	1	48	1	9	253	79	4	35	31	x	-	x
登別市	270	125	2	164	-	-	-	0	0	0	-	2	268	74	85	35	32	x	126	x
伊達市	1,079	40	399	44	16	4	0	11	4	332	17	3	680	38	34	138	123	x	456	x
豊浦町	511	82	64	116	2	1	0	2	3	50	3	3	446	56	85	64	58	297	0	-
壮瞥町	172	142	151	93	11	2	0	6	3	82	2	45	21	139	20	-	-	-	1	-
白老町	1,017	47	9	148	-	-	-	-	-	8	0	x	1,008	21	403	11	x	x	348	x
厚真町	793	60	296	64	148	14	0	34	8	63	16	2	497	51	38	35	31	x	409	x
洞爺湖町	529	79	213	83	5	3	0	18	18	144	20	3	316	71	81	23	21	x	0	x
安平町	1,048	43	254	75	27	31	1	47	4	100	29	16	794	31	131	107	94	x	143	x
むかわ町	735	63	593	28	133	9	1	18	9	403	5	15	143	93	94	22	16	0	1	26
日高地域																				
日高町	1,833	16	124	99	32	-	0	1	3	84	2	3	1,709	8	113	244	218	x	0	x
平取町	596	74	360	52	48	1	0	2	2	305	1	0	237	82	67	53	48	11	-	107
新冠町	1,345	27	54	121	14	0	0	1	0	38	0	1	1,292	15	93	144	132	x	-	x
浦河町	1,322	28	41	130	3	-	0	0	0	24	-	x	1,282	16	50	20	18	-	-	1,211
様似町	264	126	18	141	2	0	-	0	0	15	0	0	246	81	4	7	x	0	-	235
えりも町	26	165	0	169	-	-	-	-	0	-	-	-	26	132	18	4	x	0	-	4
新ひだか町	1,917	15	118	102	20	0	0	0	0	57	1	x	1,799	7	142	72	65	67	-	1,519
南空知地域																				
夕張市	304	116	304	61	1	0	0	0	0	301	1	x	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢市	1,676	18	1,620	5	482	170	3	108	5	726	22	104	57	115	1	51	47	-	1	4
美瑛市	594	75	592	29	340	64	2	69	0	45	8	64	2	161	2	-	-	-	0	-
三笠市	252	131	144	95	23	5	0	7	0	96	0	13	108	101	2	11	x	x	-	x
南幌町	410	99	403	41	195	66	0	33	0	91	11	0	6	151	-	6	x	-	0	-
由仁町	544	77	440	37	159	50	0	32	21	139	16	2	105	102	11	82	71	x	11	x
長沼町	1,080	39	827	17	145	111	1	83	9	415	8	14	253	79	50	45	41	x	1	x
栗山町	725	66	605	26	145	60	1	17	26	319	2	36	120	98	18	-	-	x	10	x
月形町	337	109	307	60	113	11	0	20	0	40	3	120	31	129	24	6	6	-	-	1

資料：農林水産省統計部「令和4年市町村別農業産出額（推計）」

注1：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業算出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。

注2：その他農作物は、果実、花き及び、その他農作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。